



● シェルビービル市訪問…2～3ページ

広報
あおくわ
ookuwa



12
2019
No.542

シェルビービル市訪問



10月4日から13日まで、村の国際交流事業で木曾青峰高校の生徒3人と都留文科大学の学生1人を合む6人がシェルビービル市を訪問しました。

国際交流での成長

菊池 快星 (旭町)

僕にとって初めての海外は、出会うもの全てが新鮮で驚きの連続でした。

まず、スケールの違いに驚かされました。僕を受け入れてくれたフォックス家の庭には大きな池があり、スポーツ公園にある池と同じかそれ以上でした。

アメリカの人と過ごしていると文化の違いを痛感しました。ご飯を残さず食べるのが日本人ですが、アメリカ人は残すのが当たり前なのです。日本の「もったいない」という考えがあるので、そのまま食べ物が捨てられてしまうと思うと胸が苦しくなり、日本人の考え方を教えました。



高校は日本と全く違って、車で登校し、体育で筋トレを行い、授業は学年関係なく受け、黒板は使わずプロジェクトターを使うなど新しい発見ができました。その中でも1番の発見は授業中に寝ている人がいないことです。アメリカの学校は自主的な活動が多く日本のように先生の話聞くことが少ないことでシェルビービルの学生は

学校への満足感が高く、授業を楽しんでいることで寝ないのだと思えました。

今回、アメリカを訪れたことで、アメリカのことだけではなく、日本のこともたくさん知ることができました。日本にもアメリカにも良いところと直すべきところがあつて、それを発見できたことは大きな発見でした。私はこのような新しい発見をしていけるよう、挑戦を続けていきたいです。

国際交流事業に参加して

野尻 優月 (大野)

私はこの姉妹都市交流に2つの目的を持って参加しました。

1つ目は自身の語学力向上のためです。私はスピーキングに対して苦手意識があり、少しでも克服したいと考えたからです。実際にホストファミリーや学校の友達と話してみると話すスピードがとても速く、知らない単語ばかりで理解することが難しく感じました。しかしホストファミリーと多くの時間を過ごしていくうちに耳が英語に慣れて簡単な会話ができるようになった。帰国後、学校で

リスニングをしたときに話すスピードがゆっくりだなと感じ耳が現地の英語に慣れていくことを実感しました。

2つ目は自分が住んでいる地域の文化を知ってもらおうことです。私がシェルビービル市を理解して知れたようにホストファミリーにも私の住んでいるところについても知ってもらいたいと考えたからです。そのため、私は木曾ヒノキで作られた箸と五平餅のたれをプレゼントしました。とても興味を持ってくれたことを嬉しく感じました。日本の文化に興味を持ってもらえるため、また触れてもらえる機会を作れて良かったです。



今回のホームステイを通して自分の英語能力の未熟さを改めて感

じ、勉強不足だと自覚することが出来ました。しかし、拙い英語でもコミュニケーションを取りたい、伝えたいと言う気持ちを持つことが重要だと学びました。ホームステイを受け入れてくれたウェイド家のお父さん、お母さん、兄のガレット、そして妹のミアに感謝したいです。ありがとうございます。

シエルビービルへの訪問 鈴木 陽世梨（仲町）

私が、シエルビービル市への訪問で特に思い出に残ったことは、ホームステイです。私は英語を話すことがあまり得意ではなく、不安が大きい中、ホストファミリーとの生活がスタートしました。しかし、家族全員が温かく迎えてくれ、少しホッとしました。

ホストファミリーには、様々な場所に連れて行ってもらいました。特に印象的だったのは、パンプキンパッチです。ハロウィン用のかぼちゃが今まで見たことがないほどたくさん売られていたり、飾られていました。また、その日の夜は、そこで買ったかぼちゃを

くり抜いてかぼちゃランタンを作りました。日本ではできない多くのことを体験でき、5日間という短い時間でしたが、ファミリーとは濃く充実した一生忘れられない時間を過ごすことができました。

私にとってこの1週間は、ほとんどが初めての体験であり、とても貴重な日々でした。ホストファミリーをはじめ、多くの方々が本当に親切にしてください、感謝の気持ちでいっぱいです。だからこそ、別れがとても寂しく感じました。その中で私には夢ができました。それは英語をさらに勉強し、いつかまたシエルビービル市を訪問し、今回出会った方々に会いに行くことです。その時には英語で伝えられなかったこと、聞きたかったことなど、思う存分話をしたいです。



果たせた長年の夢 井上 凱（小川）

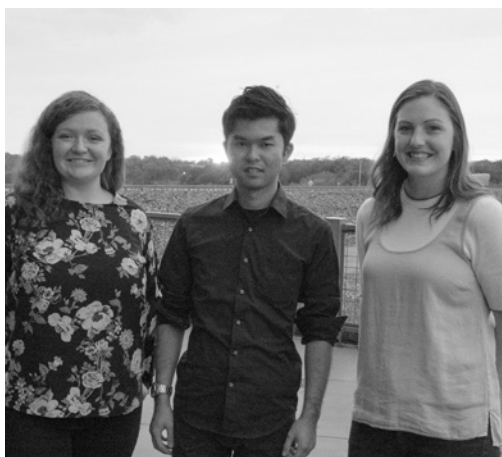
私はこの度のホームステイで希望していたいくつかの事が実現しました。

一つ目は過去に大桑を訪れた友人と再会した事です。私はこれまでに三人シエルビービル市の友人を作りました。彼らとの交流は彼らが帰国して以来はインターネット上のみでしたが今回は直接会い話す事ができました。彼らに共通して言われたのは、以前日本で会ったときに比べ私の英語が上達しているという事です。またホストファミリーとして支えてくださったデイヴィスさんご一家のお力でも二つのカレッジで現地の学生とも交流する事ができました。その際にも言語の違いによる会話の支障が殆ど無かった事が私の大きな成果です。また、カレッジでの交流のみならず、米国の文化の中に入り込む事ができたのは私にとって大きな財産となりました。

私は将来欧米圏の国へインタースhippに行き、その国で就職したいと考えています。しかし私は学生生活を終えた後、社会へ出た

とき特定のコミュニティや団体で活動したり働く事が普通に来るかどうか不安に思っています。この交換ホームステイでカレッジの学生や市民の方と交流することで私が将来のために培うべき自信をつける事ができました。私がいから歩む道が少し明るくなったような気がします。

私は写真や映像を作る事が好きであり、趣味の範囲を超えて活動をしていきます。外国で仕事に就くには現地の人とコミュニケーションをとる事が前提なので、今回培った自信は大きな糧です。今度米国へ行く時はシカゴをもっとゆっくり見てまわりたいと思います。



■民生委員・児童委員の新体制（敬称略）

氏名	担当地区	氏名	担当地区
高樋 隆円	上郷・須原上町上 須原上町下・須原本町	吉田 良次	下落・殿中・殿下 小川
滝澤 智年（新）	仲町・茶屋町 門前上・門前下	岩田 美代子	上在・野尻上町上 野尻上町下・旭町
高田 隆一	和村上・和村下	小瀬木 日出男	野尻本町1・野尻本町2 横町・新田1・新田2
古瀬 雄二（新）	下条・大野・田光 橋場・越坂	大前 信雄（新）	新田3・新田4 新田5・下在1下
横平 美那子	大島・東上 東下・東外向	石野 まゆみ（新）	下在1上・下在2 下在3
向井 文男	長野中・長野西	新井 好（新）	下在4・川向・阿寺
古谷 徹	弓矢上・弓矢下	下野 良則 （主任児童委員）	村内全域

民生委員・児童委員の改選が行われ、12月1日、厚生労働大臣から委嘱されました。
委員は新任5人、再任9人の計14人で、任期は令和元年12月1日から令和4年11月30日までの3年です。

民生委員・児童委員の改選

▼新任委員



新井 好
（下在4）



石野 まゆみ
（下在2）



大前 信雄
（新田5）



古瀬 雄二
（越坂）



滝澤 智年
（仲町）

中学校体験入学

11月28、29日の2日間、小学6年生が大桑中学校へ体験入学しました。

1日目は、校舎見学、中学校生活についての説明、校長先生の講話などが、2日目は、授業や部活動の体験、中学生との交流会が行われました。

校舎見学では、中学生が6年生を引率し、各教室について説明しながらまわりました。6年生たちは小学校との違いに驚いている様子で、教室に置いてある備品の使い方などについて積極的に質問していました。

理科の体験授業では、洗剤を混ぜた過酸化水素水にヨウ化カリウムを加え、発生する泡の正体を考察しました。生徒の案により、火を近づけて燃え方を観察。泡の正体が酸素だとわかり、生徒たちは実験を通して新たな知識を得ることを楽しんでいました。

生徒たちは2日間で様々な体験をし、4月から始まる新たな生活に胸を膨らませている様子でした。



▲理科の体験授業で火を使って実験



▲校舎見学で職員室を訪問

認知症啓発

セミナー

11月9日、野尻地区館で認知症啓発セミナーが開催されました。

映画監督の関口祐加さんが認知症の母親との日々を撮影した長編映画「毎日がアルツハイマー」が3回上映され、95人が会場を訪れました。

2回目の上映前には関口さんの講演会が行われ、「認知症にかかると『認知症の人』という眼鏡で見られてしまうが、実際は脳で異常が起きているのは全体の5%程度。普通のことでは普通にできる場合が多い。」「認知症患者がどうあるのが幸せなのかを、ケアする側が理解することが大切。」など、自らの経験をもとに語りました。



▲関口祐加監督

農林業センサスが 始まります

農林水産省では、2020農林業センサスを実施します。

この調査は我が国の農林業や農村地域の実態を把握し、適切な農林行政を推進するため、5年ごとに行われる最も基本的な調査です。

令和2年1月から、地区の統計調査員が農林業関係者を訪問しますので、聞き取り調査への回答と調査票への記入をお願いします。調査への回答はオンラインで行うことも可能です。回答・記入された内容は、統計以外の目的には使用しません。調査へのご理解ご協力をお願いします。

▼問い合わせ先
総務課企画係
Tel * * 55 - 3080



年金生活者支援給付金制度が始まります

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

■対象者

- ①老齢基礎年金を受給している人で、次の条件を全て満たす人
 - ・65歳以上である
 - ・世帯員全員の村民税が非課税となっている
 - ・年金収入額とその他所得税の合計が約88万円以下である
- ②障害基礎年金、遺族基礎年金を受給している前年の所得額が約462万円以下の人

■請求手続き

- ①平成31年4月1日以前から年金を受給している人
→対象者には日本年金機構から案内が9月以降順次発送されています。同封のはがき（年金生活支援給付金請求書）に記入し提出してください。
- ②平成31年4月2日以降に年金を受給し始めた人
→年金の請求手続きとあわせて年金事務所または村で請求手続きをしてください。

■日本年金機構や厚生労働省が口座番号の聴取、手数料などの金銭を求めることはありません。

▼問い合わせ先
給付金専用ダイヤル ☎0570-05-4092（ナビダイヤル）

社会体育功労者表彰

勝野誠吾さん（須原本町）が、県の社会体育功労者表彰を受賞しました。

勝野さんは昭和59年から長野県相撲連盟理事を務めており、長年にわたる功労が評価されての受賞です。

勝野さんは、「皆さんの協力のおかげで長く続けることができた。8年後の長野県国体に向けて、木曾から国体選手を出すことを目

標に今後も指導にあたりたい」と話しました。



そば打ち体験

11月20日、定勝寺でそば打ち体験が行われました。定勝寺は、日本最古のそば切りの文献が発見され、「そば切り発祥の地」と呼ばれています。

初めに、檀家総代会長の田中昭三さん（門前下）から、定勝寺とそば切りの史実について講義を受けました。

そば打ち体験は庫裏で行われ、講師の野崎健次さん（大島）から指導を受け、そば粉をこねて伸ばし、切って仕上げていました。

打ったそばは茹で、参加者に提



▲そば打ちに熱中する参加者たち

供されました。参加者は自分で打ったそばを美味しくそうに食べていました。

ふれあいコンサート

大桑村で活動する女声コーラスグループ「コール・マルベリー」のふれあいコンサートが、11月23日歴史民俗資料館で開催されました。

今年で11回目のコンサートには大勢の人が詰めかけ、立ち見が出るほどの人気でした。「アヴェ・マリア」、「川の流れるように」等の名曲を始めとして16曲を披露し、観客は美声に聞き入っていました。

女性消防団の活動

11月14日、火災予防週間に合わせ、消防団に所属する女性消防団員が、保育園の園児を対象に防火啓発の紙芝居の読み聞かせを行いました。

この取り組みは、園児たちへの防火啓発と消防団活動の広報のために行っているものです。

園児たちは紙芝居を熱心に見入り、防火に関するクイズが出されると積極的に答えていました。

その後、耐火服の着装や消防車への搭乗を体験。憧れの消防車へ搭乗した園児たちは、消防機材に

ついでの説明を真剣に聞いていました。



▲女性消防団による防火啓発紙芝居



▲コンサートの様子

冬の日間賀島で フグを味わおう！

フグがおいしい季節になりました。
村では日間賀島の宿を利用する人に
海の家利用補助券を発行しています。

【申請・利用方法】

- ①日間賀島の旅館・民宿の宿泊予約をします。
- ②宿泊日の5日前までに役場で補助金の申請をします。 ※持参する物…印鑑
- ③「海の家利用補助券」が交付されます。

【補助金額】

- ★村内に住所を有する人
大人 3,000円
小人 2,000円 (3歳～小学生まで)
 - ★村外者で村内に勤務している人
大人 2,000円
- ※補助は年度内1人1回に限ります。

- ④宿泊先のフロントに補助券を提出すると
利用料金から補助金額分が控除されます。

▼申請・問い合わせ先

総務課企画係 ☎ * * 5 5 - 3 0 8 0

道路の除雪作業に協力をお願いします

除雪作業は通常 10 ～ 15 cm 程度の積雪を目安に出動し、村内 161 路線、約 100 km の除雪を行っています。

積雪時には村内の建設関係業者 14 社が、通園、通学バス路線や交通量の多い幹線道路を優先的に、早朝から一斉に作業を行います。降雪の状況によっては作業が遅くなってしまう地域があります。

作業に伴う騒音振動などでご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。
※除雪作業について次の点に協力してください。

● 路上駐車はしない

路上に駐車車両があると周辺の除雪ができず、除雪作業に大きな支障となります。路上駐車をしないようにお願いします。

● 玄関先などの除雪

除雪車による作業の後は、玄関先などに雪が残ってしまいます。地域の皆さんで除雪をお願いします。

● 除雪車に近づかない

除雪車の近くは運転手から死角となり大変危険です。特にお子さんやご年配の方は注意をお願いします。

● 道路沿いの竹木

雪の重みで道路へ覆いかぶさり通行の妨げになります。降雪前に私有地の竹木の点検をお願いします。

融雪剤の設置

身近な道路の除雪や融雪剤散布に協力してください。

例年どおり村内各所に融雪剤を配布しますのでご利用ください。融雪剤の補充や指定場所以外に必要な場所がありましたら、役場建設住宅係までご連絡ください。



- ▼問い合わせ先
- | | |
|---------------------|------------------|
| 国道：飯田国道事務所 木曾維持出張所 | TEL 22-3011 |
| 県道：木曾建設事務所 維持管理課 | TEL 25-2239 (直通) |
| 村道：大桑村役場 建設水道課建設住宅係 | TEL * * 55-3080 |

奨学生募集

村の奨学金

村では令和2年度の奨学生を募集します。

★応募資格

- ・修学のため大桑村を離れ大学等に在学する人
- ・経済的理由により、就学に困難があると認められる人
- ※木曾広域連合の奨学金を受けている人を除く

★貸付金額

- ・高校生
月額 15000円
- ・工業高等専門学校生
月額 25000円
- ・大学・短大・専門学校生
月額 35000円

※1年分を2回に分けて貸付

★貸付基準

保護者の平成30年中の所得が700万円以下であること

★貸付決定

4月上旬に本人へ通知

★償還方法

卒業後1年間据え置き、貸付期間の2倍の期間内に、月払い・半

年払い・年払いのいずれかの方法で償還

※卒業後、村に戻り居住した人について償還額を一部免除

★申込締切

令和2年3月13日(金)

▼問い合わせ・願書提出先

教育委員会総務学校係

TEL**55・1020

木曾広域連合奨学金

木曾広域連合は一般奨学生と看護師等奨学生を募集します。応募資格、償還方法など詳しくはお問い合わせください。

★貸付金額

月額 50000円以内

★書類提出先

木曾文化公園事務局または木曾青峰高校、蘇南高校担当教諭まで

★申込期限

令和2年1月31日(金)

※当日消印有効

▼問い合わせ・願書提出先

木曾文化公園文化振興係

〒399・6101

木曾町日義4898・37

TEL**23・8011

税に関するポスター入賞

木曾郡租税教育推進協議会の令和元年度「税に関するポスター及び標語」コンクールで大桑小学校6年生の神田慎斗(かんだまこと)さんの作品が大桑村長賞を受賞しました。



▲受賞したポスター

年末年始の休館と休業

くわちゃんバス
乗合タクシー

12月28日(土)～
1月5日(日)

村民体育館図書室

12月29日(日)～
1月3日(金)

歴史民俗資料館

12月2日(月)～
2月末まで

野尻連絡所・
須原郵便局
各種証明書発行

12月29日(日)～
1月3日(金)

汲み取り

12月28日(土)～
1月5日(日)

年内の汲み取りの受付は20日まで
環境サービス(有)
TEL 52-2587

ごみ収集

12月28日(土)～
1月5日(日)

【年末特別持ち込み】※可燃ごみ
12月29日(日)
午前9時～午後3時
木曾クリーンセンター
TEL**24-3131

大桑保育園

12月29日(日)～
1月3日(金)

子育て支援センター

12月29日(日)～
1月5日(日)



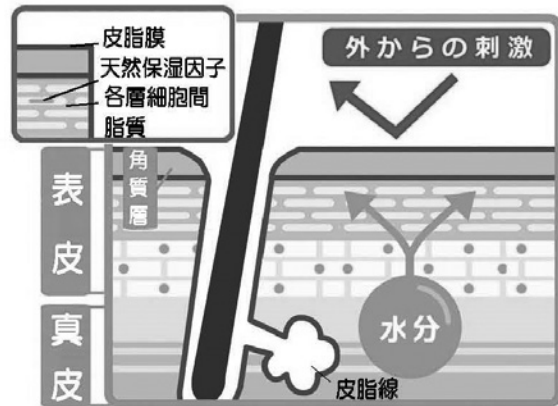
●乾燥の季節到来

空気が乾燥する季節になりました。体がかゆくなつて掻きすぎてしまい、肌荒れに悩む人もいるのではないのでしょうか。かゆみを引き起こす要因の一つに皮膚の乾燥があります。今回は乾燥によるかゆみ対策について紹介します。

●皮膚の潤いを保つ

皮膚はそれぞれ性質の異なる層が積み重なっています。皮膚の一番外側は「角質層」とよばれ、ブロッコのように並んだ細胞が細菌から体を守ったり、体内の水分の蒸発を防ぎ、体内環境を守るバリアの機能を果たしています。この機能には次の3つの要素が関係し

- ① 角質層の細胞同士の隙間を埋める脂質
 - ② 肌の表面に膜を張る皮脂膜
 - ③ 水分を保持する性質を持つ保湿因子
- 健康な皮膚は、これらの3つの要素がバランスよく整っており、皮膚の水分量が一定に保たれ、乾燥を防いでいます。



▲健康な状態の皮膚

●かゆみの要因

加齢や乾燥した空気等によりバリア機能が低下し、少しの刺激でもかゆみを感じやすくなります。この時に皮膚を掻きすぎると、皮

膚が傷つき、さらにバリア機能が低下し炎症を起こしてかゆみを強めてしまいます。患部を冷やすことがかゆみの抑制に効果的です。

●日常生活のケア

皮膚のバリア機能を保ち、かゆみを抑えるためには日常生活の中の予防や工夫が大切です。

- ① 保湿剤を使う
失われた水分や皮脂を補うためには保湿剤を使うことが効果的です。かゆくなる前から毎日保湿剤を使い、皮膚の乾燥を予防しましょう。特にお風呂上がりは急速に皮膚が乾燥するため、入浴後10分以内に保湿剤を塗りましょう。
- ② 入浴時の工夫
熱いお湯や長風呂、タオルでゴシゴシ強く洗うことが皮膚の乾燥やかゆみの原因になります。肌の乾燥を防ぐためには、38〜40℃のお湯に4〜5分つかないようにしましょう。石鹸の成分が肌荒れの原因となることもあるため、体を洗った後は泡をしっかりと洗い流すことも大切です。
- ③ 衣類のポイント
肌着の素材は自分にあったものを選びましょう。また衣類のゴム

などの締め付けは皮膚に刺激となるため避けるようにしましょう。

●生活習慣を整える

皮膚のバリア機能を保つためには、保湿ケアを行う以外にもバランスのよい食事をとり、十分に休養することが大切です。規則正しい生活を送り、乾燥する季節を乗り切りましょう。

台風19号 災害義援金

問 長野県会計課

Tel 026・235・7351

台風19号で被災された方々を支援するため、災害義援金を受け付けています。

★受付方法

○義援金箱（木曾合同庁舎等に設置）

○銀行振込

・八十二銀行 県庁内支店（普）732958

・ゆうちょ銀行

00170・0・324

895

※詳しくは長野県ホームページをご覧ください。

長野県 最低賃金改定

問 長野労働局労働基準部

Tel 026・223・0555

長野県最低賃金が令和元年10月4日から時間額848円に改定されました。最低賃金は最低賃金法

に基づき、使用者は最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければならないとされている制度です。この機会にぜひ賃金の確認をしてみてください。

最低賃金の引き上げに向けた中小企業への助成金など支援制度がありますので活用ください。

年末の 交通安全運動

12月1日から31日まで、交通安全運動を実施していきます。

★運動の重点

①夕暮れ時と夜間の交通事故防止

夕暮れから夜間の外出時は、夜光反射材や自発光材を使用して自分の存在をアピールしましょう。

夕暮れ時は車のライトを早めに点灯し速度を落とすて運転しましょう。

②高齢者の事故防止

高齢者マークを表示している車には思いやり運転を

心がけましょう。

また、運転に不安を感じたら、警察署の運転適性窓口や村に相談しましょう。

③飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大事故の原因となり、被害者の人生を奪う悪質で危険な犯罪です。年末はお酒を飲む機会が増えます。飲酒運転は絶対にやめましょう。

降雪や凍結により道路環境が悪くなる季節です。路面の状況に応じた速度と運転操作で安全運転に努めましょう。

働き方改革 相談会

問 長野県中労務事務所

Tel 0263・40・1936

問・申 産業振興課商工観光係

Tel *55・3080

働き方改革関連法への対応について、事業所を対象とした個別相談会を開催します。相談には社会保険労務士が応じます。

★開催日

令和2年2月5日(水)

午後1時～4時

★会場

木曾合同庁舎

201会議室

★申込方法

役場窓口で申込書を作成してください。

★申込期限

令和2年1月30日(木)

※申し込み多数の場合は先着順となります。

残さず食べよう

問 長野県環境部資源循環推進課

Tel 026・235・7181

県では、食品ロスの削減を目的とした「食べ残しを減らそう県民運動」を推進しています。

12月から1月は宴会が増える時期です。特に宴会料は食べ残しが多いと言われています。誰でもできるごみ減量の取り組みのひとつ

つが食べ残しをしないことです。

宴会開始から30分間、お開き前の10分間は自分の席「食べきり」で気持ちのいい宴会にしましょう。

国土利用計画 意見募集

限りある国土を有効に利用するという観点から、国土利用計画法により市町村ごとに計画を策定することができるとされています。

村では令和11年を目標年度とした計画案を策定しましたので、皆さんのご意見をお寄せください。

◆計画閲覧場所

大桑村役場
大桑村民体育館
野尻地区館

◆閲覧期間

令和元年12月9日(月)から12月26日(木)

◆閲覧可能時間

平日9時から17時または施設開館時

1月の行事予定

1水	
2木	
3金	
4土	
5日	
6月	木曾谷新春狼煙上げ(村内3か所)
7火	体かづくり教室 10:00～(野尻地区館)
8水	小・中学校三学期始業式 ゴールデンシユーの日 13:30～(スポーツ公園)
9木	らくらく筋トレ教室 10:00～(野尻地区館)
10金	
11土	
12日	消防団出初式(村民体育館)
13月	
14火	体かづくり教室 10:00～(野尻地区館)
15水	小学校スキー教室(予備日29日(水))
16木	らくらく筋トレ教室 10:00～(野尻地区館)
17金	
18土	
19日	
20月	もの忘れ相談 9:00～12:00(中央公民館) なんでも相談 13:00～16:00(中央公民館)
21火	体かづくり教室 10:00～(野尻地区館)
22水	冬の健康料理教室 10:00～(保健センター)
23木	らくらく筋トレ教室 10:00～(野尻地区館)
24金	
25土	氷雪の灯祭り(商工会周辺) 中学校休日参観日・立志式
26日	
27月	
28火	体かづくり教室 10:00～(野尻地区館)
29水	
30木	らくらく筋トレ教室 10:00～(野尻地区館)
31金	

マスコット：マナビデザイン：石ノ森章太郎

1月まなびましょう

生涯学習に関する問い合わせ 大桑村公民館 TEL ** 55-1020

教室	会場	時間	開催日
英 会 話	①	14:00	8、15、22、29
英 会 話	②	19:30	8、15、22、29
手 話	①	19:00	休み
日 本 語	⑩	10:00	休み
押 し 花	②	10:00	休み
パ ッ チ ワ ー ク	①	9:30	休み
レ ザ ー ク ラ フ ト	①	9:00	休み
陶 芸	④	10:00	休み
Wakuラク♪手作り倶楽部	②	10:30	休み
コール・マルベリー	②	19:30	9、16、23、31
ヒ ノ キ 三 味 線	①	19:00	休み
詩 吟 大 桑	⑨	13:00	14、21、28
大 正 琴 糸 瀬 会	③	13:00	14、28
リフレッシュヨーガ	①	19:00	8、15、22、29
ヨ ガ	②	14:00	11、25
あ ゆ み 整 体	①	19:00	休み
フ ラ ダ ン ス < 昼 >	②	13:30	休み (12月～4月まで野尻地区館)
フ ラ ダ ン ス < 夜 >	③	19:30	休み
大桑ダンシングフレンズ	⑧	14:00	4、18
日本舞踊はなやぎ会	⑧	14:00	11、25
池 坊 仙 堂 会	③	13:00	14、28
笑 い ヨ ガ	②	13:30	休み

会場 ①中央公民館、②野尻地区館、③須原地区館、④殿分館、⑤下在郷分館、⑥東分館、⑦野尻向分館、⑧村民体育館、⑨橋場分館、⑩その他
※各教室とも随時参加者を募集しています。



11月のできごと



11月1日 まめっこ秋ツアー



11月13日 人形劇むすび座



11月21日 小学校でやきいも



11月22日 人権ふれあい講演会



11月22日 保育園収穫祭

村の人口

1,564世帯 (前月比 -1世帯)	男 (人)	女 (人)	計 (人)
出生	2	1	3
死亡	4	3	7
転入	1	2	3
転出	7	2	9
総人口 (前月比)	1,773 (-8)	1,878 (-2)	3,651 (-10)

(12月1日現在・住民基本台帳登録人数)

1月の緊急当番医

日	緊急医名	電話番号
1日(祝)	大脇医院 (上松町)	52-2023
2日(休)	木曾ひよし診療所 (木曾町)	26-2001
3日(金)	王滝村診療所 (王滝村)	48-2731
5日(日)	奥原医院 (木祖村)	36-2264
12日(日)	池口医院 (大桑村)	55-2002
13日(祝)	芦沢医院 (上松町)	52-2018
19日(日)	古根医院 (大桑村)	55-1188
26日(日)	田沢医院 (木曾町開田)	44-2008

木曾病院 (木曾町福島)	TEL0264-22-2703
坂下診療所 (中津川市坂下)	TEL0573-75-3118
中津川市民病院 (中津川市)	TEL0573-66-1251

表紙によせて

11月25日、須原地区館で乳幼児ふれあい体験学習が行われ、中学2年生と11組の親子が交流しました。

この学習は、命の尊さ、子育ての喜びを学ぶため、中学校と村の共催で毎年行われているものです。

初めのうちは乳幼児との接し方に戸惑っていた生徒たちでしたが、抱っこをしたり、おもちゃで遊んだりすることで徐々に距離が縮まって行きました。

この学習が、生徒たちのこれからの人生の糧となればと思います。